



今月の特集

ペットも人も
快適に暮らせる
家づくり

ペットの癒し効果はペットを飼った経験がある人なら誰もが実感するかと思います。犬や猫の寿命は10年以上。長く一緒に生活するペットは家族の一員です。そこで今回はペットと共に快適に暮らす家づくりのヒントをご紹介します。

ペットのことを考えた
床材・壁材選び

ペットと一緒に快適な生活をするには、どのような点を注意したらいいのか、お悩みの方も多いのではないのでしょうか。

まずは、ペットが室内を安全に歩き回れるよう、床材選びを考えてみましょう。滑りやすい合板フローリングは、ペットが転んで怪我をするだけでなく、腰への負担も大きく、老化とともに腰を悪くすることにも。対策としては、フローリングに滑り止めコーティングを施工する、もしくはカーペットを敷くこと。適度な硬度がある無垢材フローリングやコルクもオススメです。ペットの歩きやすさに配慮した防滑性能が高いペット用床材もありますので、選択肢の一つ

として検討すると良いでしょう。

人間に合わせた階段などの段差の高さは、ペットにとっては負担になることも。家族が高齢になって足腰が思うように動かなくなってきたときのことでも考えて、段差は最小限に抑えるとともに、できるだけ緩やかにして、ペットにも家族にも安全で暮らしやすい設計にしましょう。

壁材選びは、傷に強く汚れにくい素材を選ぶことです。猫は爪が伸びてくると、爪を研ぐ習性があるため、壁を引っ掻くことがあります。対策としては、対傷・対汚性能の高いペット対応の腰壁を設置するか、通常のクロスよりも耐久性が高い「表面強化」や「防キズ」の機能がある壁紙を選ぶと良いでしょう。

ニオイ対策には、消臭効果のある壁紙のほか、珪藻土や漆喰などの自然

素材がオススメです。補修が必要になれば、キズが付いたところだけ上から塗り重ねて部分補修することもできます。

騒音・ニオイ対策も
パッチリ「FPの家」

ペットを飼っていて悩ましいのが「騒音」です。犬の無駄吠えや猫の発情期の鳴き声はご近所への騒音トラブルになりかねません。そのため、夜間は両戸を閉めたり、防音性の高い壁材を採用するなどといった工夫や対策を講じなければなりません。

加えて室内からの音漏れを防ぐには住宅性能そのものを高めることが必要ですが、その点、「FPの家」は、室内をFPウレタン断熱パネルで隙間なく包み込んだうえに、住宅の気密性を極限までに高めた徹底された施工が施されているのでより安心です。

また、優れた断熱性能で、人間よりも体温調整が苦手な犬や猫でも年中快適に過ごせる温度に保ち続けます。さらに24時間計画換気により室内で発生するペットのニオイやホコリ、結露の原因となる湿気を取り除き、いつでもクリーンで良好な室内環境を整えることができます。ペットと一緒に快適な毎日を過ごすなら、断熱「FPの家」がおすすめです。



住まいるの
知恵袋



ペントハウス

ペントハウスとは、マンションの上層階にある特別仕様の高級な住戸のこと。広いルーフテラスがあったり、吹き抜けのメゾネットになっていたりプレミアムな作りになっているのが特徴です。また、もうひとつの意味として、戸建てなどの建物の屋上に設置されている小屋のことを指し、日本ではこちらの方が一般的で、「塔屋」とも呼ばれています。

建築基準法では、建築面積の8分の1以内、かつ、ペントハウス(塔屋)の高さが5m以下の場合、建築物の高さや階数に原則的に算入しないという特例があります。ペントハウスを設置するケースで一番多いのが屋上の階段室。ハンゴや外階段ではなく、内階段で屋上へ行くことができるというメリットがあります。

カンタン
DIY



古本でインテリアをDIY

材料として使用する古本は基本、硬い板紙の表紙で綴じられたハードカバーの本を使用します。おしゃれな装丁の古い洋書を使えばオシャレな雰囲気仕上がるでしょう。

ビギナーにオススメなのが、ペットサイドやトイレ、キッチンなどの壁に設置する棚です。軽いものを置くにはそのほど強度も必要ないので、古本を木材がわりにL字金具を付けて壁に固定すれば完成です。小物入れ用の木箱の側面に数冊の本から背だけを解体して貼れば個性的な木箱にリメイクできます。数冊の本を重ね付けして、端にある本の表紙を残してその中をくり抜けば、シークレットボックスの出来上がり。アイデア次第で可能性がどんどん広がる古本インテリア。ぜひお試しください。

お金の豆知識

公示地価

国土交通省が年に一度公表する全国の土地価格。地価公示法に基づいて評価する基準数値で、不動産鑑定士により算出するため根拠のある評価額と見なされています。

公的機関が公表する主な地価の指標は公示地価のほか、国税庁が夏に公表する路線価、都道府県が調べて国土交通省が公表する基準地価があります。



暮らしの1ポイント



夏至(げし)

北半球で太陽が1年で最も高い位置になり、日の出から日没の時間が最も長くなる夏至。この日は、最も日が短い冬至の日と比べると、北海道の根室で約6時間半、東京では約4時間40分も長くなります。「夏至」と書く通り、この日を過ぎればよいよ夏が到来。日に日に暑さが増していきます。

教えて Dr.住まいる

換気をする時のポイント

住居や職場で新鮮な空気を取り入れて効率の良い換気をするには、空気の入りと出口を作ることが大切です。空気を取り入れる給気側は小さく開け、排気側を大きくすることで空気の入りの勢いが良くなります。対角の窓を2カ所開けることで空間全体の空気を循環させて効率の良い流れを作ることができます。

